

平成22年度予算状況

1 予算概況

経営の合理化、経費の削減に努め、北部浄水場配水池の耐震化工事を引き続き実施します。

平成22年度の水道事業予算は、平成22年3月定例市議会で議決されました。

2 資本的収支予算（浄水場や配水管等を建設・整備する予算）

収入 7億8,279万円

支出 13億7,263万円

概要

浄水場や配水管等の建設改良を行うための資本的収入については、借入金が4億円、分担金が1億9,845万円、三郷中央地区関連工事などの工事負担金が1億4,700万円、国庫補助金が3,734万円の総額7億8,279万円を予定し対前年度比では、72.3%の増となりました。

資本的支出については、配水管の布設や老朽管の布設替などに6億5,038万円、北部浄水場配水池の更新事業などに6億2,907万円、借入金の返済には9,318万円の総額13億7,263万円を予定し、対前年度比では、40.7%の増となりました。

支出に対する不足額については、損益勘定留保資金などで補てんいたします。

3 収益的収支予算（水道水をお届けするための予算）

収入 21億3,922万円

支出 21億7,636万円

概要

給水サービスなど1年間の営業活動を行うための収益的収入については、水道料金が20億4,660万円、下水道使用料の事務手数料や、配水管の切廻しなどの受託工事収益他の収入が9,262万円の総額21億3,922万円を予定し、対前年度比0.6%減となりました。

収益的支出については、県営水道からの受水費や地下水を浄化するための費用に8億7,083万円、水道施設を維持し、水を送るための費用に2億9,318万円、職員の給与や事務経費などに3億6,905万円、水道施設の償却費に4億8,163万円、配水管等の除却費を含めたその他の費用に1億6,167万円の総額21億7,636万円を予定し、対前年度比では1.1%の減となりました。

施設の更新に伴い、償却費が増加し3,714万円の赤字予算となっておりますが、経営の合理化・経費の削減に努めてまいります。